

3月  
の  
会  
の  
あ  
ら  
ま  
し  
定  
例

3月定例会は、3月2日から25日までの25日間の会期で開催しました。

初日には、町長が新年度予算の概要と施政方針「愛と幸せのある安心して暮らせるまちを目指して」と町政の基本的な考えを表明。

平成27年度の9会計の当初予算をはじめ、平成26年度の補正予算、子ども・子育て会議条例の制定、監査委員の選任、条例の一部改正など37件が上程され、いずれも原案どおり可決しました。議員提出議案の「議会委員会条例の一部改正」など3件全て可決しました。その他陳情1件を審議し、採択しました。

一般質問では、6人の議員が町政全般の問題をただしました。



幸田駅西工場団地

特定工場の緑地  
面積を緩和する

特定工場は、敷地面積が9000㎡、建築面積が3000㎡で町内に20社ある。

緑地面積と環境施設面積の緩和を図り企業立地を推進する。

Q 自然環境と緑地は守ら

れるか。

A 環境基本条例などで指導していく。

Q 緩和のメリットは。

A 生産効率向上のための敷地の有効な活用が可能(反対2、賛成13で可決)

町長  
施政方針

社会経済情勢は、経済対策により、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、消費税率が引き上げられた影響もあり、個人消費等に弱さがみられる状況となっています。本町におきましても、町税全体では前年度に対し微増を見込みました。

このような情勢の下、消防救急無線デジタル

化など防災・安全対策と将来を見据えた計画づくりを重点施策と位置付け、児童クラブ増設など子育て支援や教育など各種事業にも取り組んでまいります。

また、第6次幸田町総合計画などの将来計画の策定や、公共施設等総合管理計画など各施設の長寿命化計画・修繕計画の策定をおこなうなど行政改革に努め、持続可能な財政運営を図ってまいります。

# 議案審議

## 職員定数条例の一部改正

地方教育行政の組織、運営に関する法律が一部改正されたことで、教育長が一般職から特別職となる。

**Q** 首長が教育長を任命することになるが、教育内容への介入ではないか。  
**A** 職務権限は明確になっ  
てくる。  
(反対2賛成13で可決)

## 子ども・子育て 会議条例を制定

子ども・子育て支援法の施行に伴い会議の設置、組織などを定める。

**Q** 会議の持つ役割は。  
**A** 子育てに関するニーズを把握し反映させる。  
**Q** 会議の公開を。  
**A** 公開していく。  
(全員賛成で可決)

## 保育料の改正

子ども・子育て支援法のもと、4月から保育制度が

変わり、新制度に基づく保育料の徴収基準の見直し。  
**Q** 所得区分算定が、所得税から市町村民税になる影響は。

**A** 188人が増となり90人が下がる。  
**Q** みなし控除の再算定で負担避けよう。  
**A** 階層区分に盛り込んで  
いるため見直しはしない。  
(反対2賛成13で可決)

## いじめ防止対策 委員会を設置

いじめ防止対策推進法により、いじめの未然防止、早期発見、対処などを審議するいじめ防止対策委員会を設置する。必要に応じていじめ問題調査委員会を設置。

**Q** 教育委員会と町長部局との連携は。  
**A** 現在でも連携はとれている。  
**Q** いじめで重大事件がおきた時は。  
**A** 専門的な助言をもらうため、平成26年8月25日岡崎市・幸田町で学校警察連携協定を結んでいる。  
(全員賛成で可決)

## 第6期介護保険 事業がスタート

平成27年4月から介護保険料段階、保険料率を改正。介護予防、日常生活支援総合事業は29年4月から。

**Q** 現行水準を確保できるか。  
**A** 事業者と委託契約をしてやっていきたい。  
**Q** 所得の段階区分の細分化はできないか。  
**A** 対象者は少ない。  
(反対2賛成13で可決)



高齢者サロン

## 人事案件

監査委員 (任期4年)  
山下 力氏 (大草)  
(全員賛成で同意)

## 議員提出議案

3つの常任委員会を総務教育委員会と福祉産業建設委員会とする。  
(全員賛成で可決)

政務活動費の額を年額6万円から12万円とする。  
(全員賛成で可決)

年金積立金の安全かつ確実な運用の確保を求める意見書(案)の提出。  
(全員賛成で可決)

## 陳情

年金積立金の安全かつ確実な運用の確保を求める陳情書。  
陳情者 連合愛知三河中地域協議会 代表 矢田勝弘  
(全員賛成で可決)

## 平成26年度 最終補正予算

会計年度も終わりに近づき、予算の追加や調整など一般会計、特別会計あわせて7議案が上程された。  
一般会計補正予算は2億4133万円が減額。  
(全員賛成で可決)

## 2000円お得 プレミアム付 商品券を発行

最終日に、平成26年度一般会計補正予算4338万5000円が追加された。国の緊急交付金を活用して次世代産業創出事業と、プレミアム付商品券事業をおこなう。  
**Q** 次世代産業創出事業とは。  
**A** 地方創生のため総合戦略の策定と、次世代の産業を創出するために研究調査を委託していく。

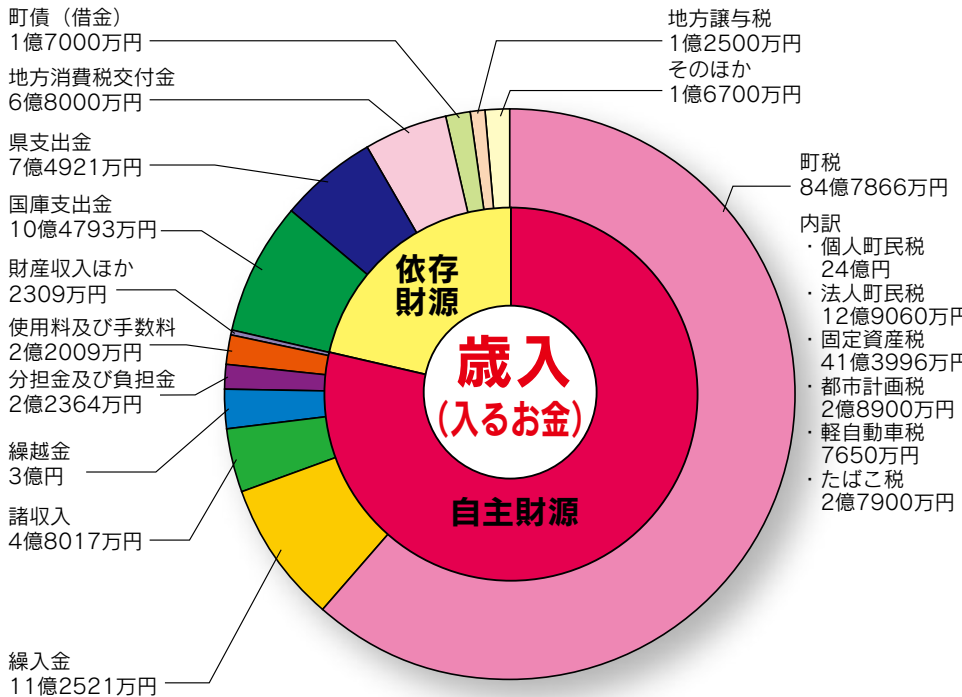
**Q** プレミアム付商品券事業とは。  
**A** 事業主体を商工会とし商店の売り上げ拡大と、景気の高揚を図っていく。具体的な計画は。

**Q** 具体的な計画は。  
**A** 販売額 1万円で500円券24枚つづりの1万2000円分。  
販売方法 一帯3セツトまで。詳しくは広報、ホームページ。  
使用方法 約200店舗の商工会加盟店などで7月から12月末まで利用できる。  
(反対1賛成14で可決)



坂崎保育園入園式

# 人口増で学校整備



**自主財源**  
108億5086万円

**依存財源**  
29億3901万円

新年度の予算の自主財源は、歳入総額の79%を占めており、国からの地方交付税を受けない「不交付団体」(31年連続)を見込んでいる。また、予算規模は町税回復傾向で平成23年度に続く過去2番目となった。町の歳入には個人町民税・法人町民税・固定資産税・都市計画税・軽自動車税などの町税や繰入金などの自主財源と国・県などから交付される収入である依存財源がある。



幸田小学校

平成27年度当初予算  
総額225億1434万円

**平** 成27年度予算の規模は一般会計と7つの特別会計ならびに水道事業会計合わせて総額225億1434万円となり、前年度比12億865万円(5.7%)の増となった。

一般会計は、総額137億9000万円(前年度より6億7000万円の増額となった)。

**町** 税の総額は84億7866万円(前年度比1.3%増)となった。うち法人町民税は、企業業績の回復で増加。固定資産税は家屋分の評価替えなどにより若干の減となった。

**国** 庫支出金は、児童手当・障害福祉サービス費負担金などにより10億4793万円となった。財政調整基金から11億2521万円を繰入れし、全体調整をおこなった。

**歳** 出で注目されるものは、消防救急無線デジタル化、遊水地土地利用計画、児童館基本構想、幸田小学校整備実施設計、ハッピーネス・ヒル・幸田改修計画、防犯灯LED化、幸田駅前広場基本計画策定など将来に備えた予算となった。

**国** 民健康保険特別会計では保険財政共同安定化事業拠出金の対象医療費の見直しにより大幅増を見込んだ。

# 町税回復傾向で 過去2番目 137億9000万円を可決

**義務的経費**

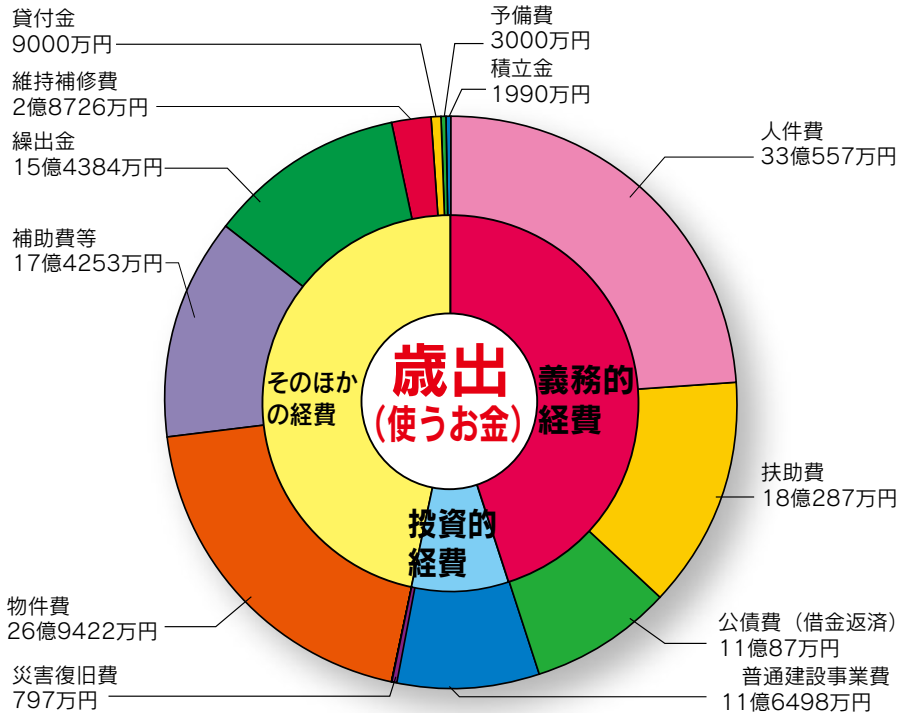
**62億 931万円**

**投資的経費**

**11億7295万円**

新年度予算の義務的経費は、前年度比1億5343万円の減額。投資的経費は、3億4803万円の増額である。

歳出は、人件費、扶助費、公債費（借金返済）など経常的なもので、任意に削減することができない義務的経費と普通建設事業や災害復旧などの投資的経費がある。



各会計別の当初予算と採決状況

(▲は減)

会計区分	予算額	前年度比 (%)	採決の状況	
一般会計	137億9000万円	5.1	反対 1：賛成 14 で可決	
特別会計	土地取得	2280万円	▲22.7	全員賛成で可決
	国民健康保険	36億9076万円	16.9	反対 2：賛成 13 で可決
	後期高齢者医療	3億1167万円	4.9	反対 2：賛成 13 で可決
	介護保険	17億4474万円	2.6	反対 2：賛成 13 で可決
	幸田駅前土地区画整理事業	3億6972万円	14.6	全員賛成で可決
	農業集落排水事業	3億8859万円	0.9	反対 2：賛成 13 で可決
	下水道事業	7億5556万円	▲3.1	反対 2：賛成 13 で可決
水道事業会計	収益的支出	7億2861万円	▲8.6	反対 2：賛成 13 で可決
	資本的支出	7億1189万円	▲0.6	
合計	225億1434万円	5.7		

**人と自然を大切に  
する予算配分**

杉浦あきら 議員

町税が回復傾向にある中、新規事業として、消防救急デジタル化、児童館の建設構想、道路電光掲示板、防犯灯のLED化などが事業化されている。

一方、財政運営に当たっては、リーマンショックの教訓を生かし財政調整基金の保持、並びに公債費の減少に向けての配慮がある。

効率的・効果的な事務事業の執行を  
はかり、住民全員が満足するよう全力  
で取り組むよう期待する。



**賛成**

**反対**

**町民生活を守る  
町政運営を**

丸山千代子 議員

企業誘致を加速する予算である。自然環境を破壊して企業優先のまちづくりではなく、バランスのとれたまちづくりを。

マイナンバー制度実施は個人情報漏えいが危惧される。保育新制度で保育料引き上げはすべきでない。

国の経済政策や消費税増税は町民の暮らしを直撃し格差社会を拡大。町民生活を守る町政運営を。

# 計画づくり

## 注目事業



### 魅力あるまちづくり計画

幸田駅前広場  
1000万円

菱池遊水地の  
土地利用  
500万円



児童館  
坂崎・幸田・  
豊坂学区  
200万円

### 快適生活・環境



次世代自動車  
購入補助  
285万円



校舎改造工事  
坂崎小学校 1800万円  
校舎の増築計画  
幸田小学校 2000万円



トイレ改修  
坂崎・深溝小学校  
1500万円  
永野公園  
200万円

- Q** コミュニティバス事業  
名鉄バス廃止後のルート見直しを。
- A** 北ルートを中心にバス停を増加。
- Q** 利用者の変動は。
- A** 廃止後、5カ月で1000人増えた。
- Q** 墓地公園構想
- A** 今までは特定の場所ではない。全町的に調べる。

### 快適生活・環境

- Q** 活動期間は、5年間の予定。
- A** 活動期間は、5年間の予定。
- Q** 新技術の取得意欲の高い地元企業に、大学の知識を紹介。
- A** 新技術の取得意欲の高い地元企業に、大学の知識を紹介。
- Q** 愛知工科大学の一室。狙いは何か。
- A** 愛知工科大学の一室。狙いは何か。
- Q** 活動拠点は。
- A** 活動拠点は。
- Q** ものづくり研究センター
- A** ものづくり研究センター

### 新産業創出

2日間にわたり集中審議

Q & A

予算特別委員会

新年度  
予算審議から

# 未来に向けた

## 施設の長寿命化計画



**耐震化**  
体育館吊り天井  
荻谷小学校 2500万円



ハッピネス・  
ヒル・幸田  
3館修繕計画  
1518万円

**橋梁長寿命化修繕  
計画**  
1900万円



## 安全・安心



**消防救急無線  
デジタル化**  
1億8316万円  
運用開始平成28年4月



**太陽光発電設備**  
幸田・南部中学校(避難所)  
5831万円



**防災備蓄倉庫**  
南部中学校  
570万円

**Q** マインナーバー制度  
メリットは、  
**A** 社会保障と税の一元管  
理ができる。  
**Q** いつから使用開始か。  
**A** 平成28年開始予定で、  
個人情報流出防止も図る。

くらし

**Q** リース料に含まれ経費削  
減となる。  
**A** 維持管理、点検修理が  
リース料に含まれ経費削  
減となる。  
**Q** リース料の狙いは。  
**A** リース料は、リース料が  
580万円、47%に削減。  
**A** 年1248万円が  
電気料金は。

**Q** 防犯カメラの設置  
場所はどこか。  
**A** 警察と相談して決める。  
**Q** 防犯灯のLED化  
電気料金は。  
**A** 年1248万円が

## 安全・安心

**Q** 次世代自動車の購入補助  
燃料電池車の場合の金  
額と台数は。  
**A** 1台30万円で3台と予  
想。